

政府主催全国都道府県知事会議終了後の記者会見概要

日 時：平成25年11月8日（金）19：15～19：23

場 所：都道府県会館6階知事室

出席者：山田全国知事会会長（京都府知事）

（司会）

今日は12時から当会主催の、そして政府主催の知事会議が長時間行われました。山田会長による記者会見をさせていただきたいと思います。おそらく皆さん資料もお手元にあり、会議にも出席されていると思うので、皆様のご質問を受ける、そしてこちらでお答えするという形で進めていきたいと思います。質問のある方は挙手をお願いします。

（記者）

政府から回答も得たと思うが、知事の受け止めは。

（山田全国知事会会長）

財源問題等について、基金に関し、かなり積極的な発言をされたということは評価をしたいと思います。交付税の方は、しっかりと算定してという決まり文句でした。国土強靱化については、かなり熱心にやっていくという雰囲気を受けました。

一番分かりにくかったのは地方公務員の給与問題だと思いますが、発言の時に、柔らかい表情だったというのが印象的でした。今回の成果ということでは、地方分権の農用地の問題について、古川佐賀県知事の言い方も上手だったと思うのですが、農地転用ができないために起きているような事態を起らないようにするという事を総理から言っていたのは、非常に大きな成果だったのではないかと考えており、あれは草稿にはないちょっと踏み込んだ発言をしていただいたのではないかと思います。

（記者）

地方法人課税のあり方について、東京都など大都市とそうでないところの間でかなり意見が割れていると思うが、それについて会長はどのように。

（山田全国知事会会長）

今日のお昼からの知事会議でも出ましたが、東京都の言っていることは正論中の正論で、私たちも正論についてはその通りだと思っていますが、現実問題として税源の偏在があり、また、地方消費税がこれから増えていく中で地域間格差が広がっていくところにダブルで更に広げていくことができるだろうかという、大変な現実問題があります。この現実問題と理論の整合性というのを、どうやってとっていくのだろうかというところだと思います。

今日も昼間に言いましたように、本当は地方共有税とか共同税とか、知事会の研究会でとりまとめたような税が出来上がるとそうした問題にはならないと思いますが、それまでの間、短期的な調整というものを少し考えていかなければならないのではないかと考えています。

最初に総務省から出た案が、地方法人特別税の廃止を前提としているのか、していないかわからないような案だったので、あくまで地方法人特別税を見直していく中で、どれだけ調整が取れるかという問題なのではないかと考えています。

その点で、一回国税にしてというよりも、もう少し地方のきちんとした固有の財源として扱うことができないだろうかと、これはやはり総務省に、もう一段知恵を絞ってもらいたいという感じはしています。

(記者)

地方公務員給与の取り扱いだが、今朝の報道では、政府は給与は今年度限りの措置にするという方針を固めたとの報道がある中で、今日の知事会のやりとりをどうお感じになったのか。あと、今の政府の雰囲気はどうお感じになっているか。

(山田全国知事会長)

今日、あの報道を見た瞬間に、それについての発言は、もうやめようかなと思ったくらいです。そうしたら新藤大臣が、いやそんなことはない、今日の知事会議でもお話を聞きたいという話があって、これはやはり積極的にこちらから言うべき問題になっているということで、もう一度古田岐阜県知事からしっかりと行っていただきました。そうした点では、報道もいろいろと根拠はあるのだと思っはいますが、我々としては、言うべきことを言うていく中で、先ほども申しましたように、新藤大臣も総理もあまり牽制球を投げるような発言はされなかったなという点で、素直に受け止めていけば、今のところは良い方向に進んでいるのではないかと感じています。ただ、逆に報道先行になってくると、それに反発される方も出てくるのではないかと不安も感じます。

私のところは下げますけれども、あなたのところは上げてください、などということはいにくいですし、論理的には人事委員会や交付税の問題もありますが、現実問題として地域経済を浮揚させなければならない、との地方の思いを今日お伝えしました。事業所統計や、給与統計を見ましても、地域におきまして、全然給与が上がっていないわけです。アベノミクスの大きな目的が給与を上げるということであるならば、地方公務員の給与問題は、今年限りにしない限り、地域における給与が上がることはないのではないのでしょうか。デフレを脱して、元気な日本をつくる上で、この問題については国民の皆さんにも是非ともご理解いただきたいと思っておりますので、今日は、我々としては引き続きしっかりと地方の立場を訴えていきたいと思いました。

あとは、これからの地財対策が心配です。別枠加算の問題は、今日は全然触れていなか

ったのですが、歳出特別枠と別枠加算の歳入の問題というのも、これから大きな争点になってきますし、基金の方は前向きな話がありましたが、どれほどの規模で行っていくのが気になります。その他に今日気になったのは、甘利大臣が地方産業競争力協議会について、12月の補正予算で取り組んでいく課題があればできるだけ早めに出して欲しいという話をされたのですが、今まで内閣府が言っていたトーンと違うと思いますので、これは知事会を通じて、各協議会に少し早めに意見を出すように言わなければいけないと、閣僚懇の中では思いました。その点が新しいことだったという感じがします。

- 以上 -